

○組織

会長 門脇 伸子（桧木内小学校）
副会長 佐川 由紀子（西明寺小学校） 菅原 靖（太田北小学校）
監事 西野 美佳（大曲西中学校） 三浦 典子（大曲小学校）
幹事 渡邊 真理子（協和中学校） 田中 真二郎（西仙北中学校） 三浦 里子（大曲小学校）
新目 麻衣子（角館中学校） 佐藤 好一（仙北中学校） 菅原 久実（美郷中学校）

○主な事業

郡市教育研究会総会：研究テーマ、活動計画、
役員の決定（交流センター／4月23日）

第64回東北造形教育研究大会：研究視察
2名参加
（青森県八戸市／7月31日・8月1日）

第51回大曲仙北児童生徒美術展：
審査及び研修会
（大仙市大曲交流センター／
11月30日・12月1日）

第60回秋田県児童生徒美術展：
審査及び研修会
（秋田市文化会館／1月9日～12日）

○研究会の記録

・日々の研究として

昨年度の全国大会をふり返り、今年度も「思い豊かで楽しくてたまらない造形教育を求めて」の研究テーマの下、「自ら表したいこと・考えたいことを見つけさせる指導の手立て」を研究の重点として授業改善を目指してきた。改善のポイントとして、「題材ありきの授業づくりからの脱却（育成したい資質・能力から考えた授業の構築）」を設定し、「何ができるようになるか」そのために「何を」「どのように学ぶか」ということを意識して題材づくりを行うように心掛けることを共通理解し、授業改善を行った。また、アンケートにより、会員の悩みを把握し、生徒の発想・構想の力を高めるための手立てを各自研修して、その成果を情報交換することで次年度の研究会につなげていけるようにした。

・関連事業

令和元年度 第51回大曲仙北児童生徒美術展（大仙市大曲交流センター講堂）

この展覧会は、例年二日間で来場者が1000人を超え、地域の方々に親まれているものである。今年度は指導者の“題材を通して生徒に身に付けさせたい資質能力の設定”がより明確にわかる作品が多く、生徒各々の学びや個性が輝く展覧会となった。運営面では、県美術展との関連を考え、出品点数の見直しを行った。今後も、時代に合ったより簡略・明確な事務運営が望ましいと考え、出品料の見直しをはじめ、その他の運営に関しても改善を図ってきたい。

